

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ

住所：横浜市港北区新横浜2-8-4 オルタナティブ生活館1階

E-Mail: info@tsunagaru-kanagawa.org <開所時間>

TEL: 045-211-4667 FAX: 045-662-4306 9時30分～17時

参加団体 (8月末) ◆ 正会員 87団体 ◆ 賛助会員 12団体



◀ HP



◀ Instagram



◀ Facebook

Contents

- 居場所づくりから地域のつながりへ
- 各エリアで「居場所交流会」を開催しています
- つなかな理事長が聞きました 新しい会員団体のご紹介 ▶ 福祉クラブ生協
- つながるかながわ移転のご案内



居場所づくりから 地域のつながりへ

超少子高齢化や人口減少が進むなか、地域では孤立や貧困など多様な課題が顕在化し、それに伴い各地で「居場所」づくりが広がっています。そして、それら個々の居場所は今、「活動を継続するための運営力の確保」「培われたノウハウの共有」「活動を支える資金」などの課題に直面しています。

そこでつながるかながわは、今年度新たに「地域の居場所連絡会」を立ち上げました。これまでも「まちづくり会議」設置で、地域で活動する人や団体のつながりを育んできました。その経験を活かし、居場所どうしをつなぎ、連携することで対策をみだせたらと考え、さまざまな取り組みを行っています。



「地域の居場所連絡会」事業 三つの柱



**お互いの活動を知り、
顔の見える関係をつくる**

エリアごとに
「居場所」活動の連携を促進し、
横のつながりをつくります。



**持続可能な居場所活動の
モデルをつくる**

共通の課題や困りごとを
共有し、まちづくり会議と
連動して地域に根ざした
取組を考えます。



市民の共感と参加を広げる

居場所フォーラムの開催を
通じて、ボランティア活動への
参加の輪を広げていきます。

地域の居場所連絡会は、活動を「点」で終わせないための横の連携装置です。現場で培われた知見をもとに、政策提言、運営支援、共同キャンペーンへとつなぐ拠点としての役割が期待されます。県内の居場所づくりがさらに、持続可能で多くの人と地域に広がるものとなるよう、つながるかながわは今後も動き続けます。

※本事業は神奈川県「かながわボランティア活動推進基金21」より補助を受け活動をしています。

かわさき

第1回 地域の居場所連絡会 「かわさき×つながるラボ」交流会

参加
29名

日時 7月21日(火) 14時～16時 **📍** 生活クラブ高津センター

テーマ 居場所って何？聞いて話して持って帰ろう！

ゲスト ^{かわい ふじ か}川合藤花さん(ゼロ・ウェイストショップ「しょうてんいっぴん」店長)、^{みつ はしざち よ}三ツ橋幸代さん(painapokitchen)

循環型の暮らしやゼロウェイスト、キッチンカーをきっかけに生まれた居場所づくりなどの実践についてゲストより伺い、その後のグループ交流で参加者それぞれの活動や思いが語られました。「コラボのアイデアが多数出て刺激をもらった」「いろいろなつながりで地域が豊かになれば」との声も。



特別な準備や大きな資源がなくても、まず一歩動いてみることから地域の居場所は始まります。今後はフィールドワークや居場所フォーラムも開催し、W.Co をはじめ地域で活動する人や団体の経験をつなぎ、ひとつひとつの「点」を地域を支える「面」へと広げていきます。



● 第2回交流会 10月23日(金) 14時15分～16時15分

📍 フィールドワーク／さくら坂スタジオ
交流会／生活クラブ高津センター

テーマ：「見て、聞いて、話して広がる 地域の居場所のづくり」
「居場所づくりの現場を訪ねるフィールドワーク」

ゲスト ^{おくつけき}奥津茂樹さん(さくら坂スタジオ)

● 居場所フォーラム 11月29日(日) 10時～13時 **📍** 高津センター

参加費：第1部無料／第2部500円(焼菓子・飲み物付き)

テーマ：居場所をつくろう！～これから始めたい人も、始めた人も、集まれ！～

基調講演：^{しみずけん}清水謙氏((株)ヒトコトデザイン)
強く、あたたかい組織・コミュニティのつくり方 ―チガラボの実践から―
パネルディスカッション：「地域で居場所を始めた人」
「これから地域で居場所を始める人」の2名を予定

湘南

第1回居場所交流会 まるっと湘南交流会 ～だれもがほっとできるつながりづくり～

参加
36名

日時 7月22日(水) 14時～16時 **📍** 茅ヶ崎市コミュニティホール

テーマ 「支えあいの地域づくりのために私たちができること」等

報告団体 ^{よしの のぶこ}吉野伸子さん(W.Coのびのび)、^{いちむらけいこ}市村慶子さん(地域さえあいセンターかるがも)、^{さやま ゆか}佐山由香さん(おひさま保育舎)

当日は、W.Co、アソシエーション団体、湘南生活クラブ、デポー運営委員長、まちづくり会議メンバーなどさまざまな立場の人たちが参加しました。環境や状況によってだれも排除されない、取り残されない、地域でのそんな人と人のつながりをつくりたいと活動する3団体から

の報告があり、その後グループごとに意見交換を行いました。開催後のアンケートでは「実際の事例から地域の顔の見えるつながりや継続していくことの重要性を再確認した」、「新しい一歩を踏み出す勇気もらった」などの声がありました。



● 第2回交流会 9/14(月)
14時～16時

📍 6 + cafe(鎌倉市今泉台)
子どもも大人も誰もが安心して
集えるつながりづくり
★6 + cafe
★こども喫茶
★NPO法人むすびいと

● 第3回交流会 11/16(月)
14時～16時

📍 秦野市広畑ふれあいプラザ
子ども・若者・家族を地域で支
えるつながりづくり
★はだのにこここフードバンク
★こだめき会
★わらわら・あしがら

● フォーラム 12/17(木)
13時30分～16時

📍 茅ヶ崎市コミュニティホール
交流会で生まれた学びやネット
ワークを共有し今後の連携をさ
らに広げる。



● 第4回交流会 2027年2/18(木)
14時～16時

📍 だれんち(二宮町)
地域に開かれた、やりたいことを
応援するみんなの居場所
★NPO法人だあれ
★みんなのスペース
★(未定)



横浜北

第1回居場所交流会

参加
22名

日時 6月28日(日) 10時～12時 **📍** オルタナティブ生活館 5Fまなびや

テーマ 活動を一步すすめるために

講師 ^{いわむらあきこ}岩室晶子さん(特定非営利活動法人I Loveつづき)



20年間、都筑区でまちづくりの活動を展開してきた岩室晶子さんを講師にお招きし、活動の中で感じるさまざまな課題にどう向き合うかについて、グループに分かれて話し合いました。「自分が参加したくなる」を徹底して考え、「そうなるようにもっていく」「やりたいと思ったらあきらめない」といったお話に刺激を受け、話し合いが活発におこなわれました。

● 第2回居場所交流会 9月27日(日) 10時～12時

テーマ：多世代の居場所づくり **📍** 新横浜オルタ館301会議室

講師 ^{さとうともこ}佐藤智子さん
(川和団地で多世代交流サロン「だんちらんたん」を開催)
ワーカーズ・コレクティブさんりん舎の皆さん
(小規模保育室、さろん&まちの台所が同居する居場所展開)



各エリアで「居場所交流会」を開催しています

さがみ

第1回居場所交流会

参加
5名

日時 6月19日(金) 10時～12時 **📍** 南林間デポー集会室

テーマ 新たな居場所を始めるには、どんな交流会をやりたいか

さがみエリアでは、さがみ生活クラブの呼びかけで、W.Co、アソシエーション、組合員が緩やかに集う居場所アソシエーションプロジェクトが開催されています。2026年度から、このプロジェクトが企画・声かけをおこない、地域でのより幅広いつながりづくりをめざして居場所交流会を始めました。第1回は6月19日、参加は5名と少なかったのですが、新たに居場所を始めたいという方のお話と相談、第2回交流会の企画について話し合いました。

● 第2回交流会 9月8日(火) 10時～12時

テーマ：「自分の好きをカタチに」

ゲスト ^{いちじ}伊知地るみさん
(NPO法人さくらの森・親子サポートネットみんなのスペースわにわに)



横浜みなみ

第1回居場所交流会

参加
18名

日時 7月30日(金) 10時30分～12時 **📍** 横浜みなみ生活クラブ 旭センター

テーマ 地域でつながり ワクワクがはじまる

ゲスト ^{いけだ まみ}池田真美さん(京急つながりmama)、^{ふる やきょうこ}古屋恭子さん(W.Coたすけあい戸塚)



「京急つながりmama」、「W.Co たすけあい戸塚」の活動内容をご紹介いただきました。地域で実際に居場所活動を行っている、または居場所活動に関心のある参加者から「参加の声掛けをどのようにしているのか」「運営資金はどのように集めているか」など、運営に関する具体的な質問が多く出て、活発な意見交換が行われました。「働く場所やボランティアする場所が自分の居場所になっている」という言葉も飛び出し、「居場所ってなんだろう?」と皆が考えるきっかけになりました。終了後には多くの参加者から「集まることができてよかった」と感想をいただきました。



● 第2回交流会 9月30日(水)
10時30分～12時
ゲスト：icocca 鳥海さん 池田さん

● 居場所の地域マップ作り
● 現地視察 など、
参加する人が楽しいと思える
企画を実施予定。





つながるかながわ理事長が聞いてきました

しのぶ
篠崎 みさ子
つながるかながわ理事長

新しい会員団体のご紹介 福祉クラブ生協

つながるかながわとともに、地域に必要な仕事を育てる

福祉クラブでは共同購入の拠点となる4センターをはじめ、様々な福祉施設を運営しています。今回は住宅型有料老人ホーム「きらり港北」を訪問し、福祉クラブ理事長の有賀さん、副理事長の山下さんにお話を伺いました。

きらり港北



Q. 福祉クラブの取組みについて教えてください。

福祉クラブ生協は、食の共同購入を土台に家事介護・食事サービス・移動サービス、子育て支援、居場所づくりまで、地域の暮らしに必要な福祉を組合員自身の手でつくってきました。「小さな助け合いで心よい暮らし」を合言葉に、制度だけでは埋めきれない困りごとに応え続けてきた歩みの中心には、出資し、参加し、運営するワーカーズ・コレクティブの働き方があります。

一方で現在は、担い手の高齢化や人手不足、新しいワーカーズが生まれにくい状況が課題となっています。それでも、単独では難しい立ち上げ支援や運営の支え合い、複数の仕事をまわす仕組みは福祉クラブならではの強みであり、地域のニーズに応じて仕事を生み出してきた実践

は大きな蓄積と
なっています。



福祉クラブワーカーズ



左：有賀 恵子 福祉クラブ理事長

右：山下 美樹 福祉クラブ副理事長／つながるかながわ理事

Q. つながるかながわの正会員となって、どのような事を期待しますか？

つながるかながわへ特に期待しているのは、人材交流と研修の充実です。福祉クラブでは、単体のワーカーズ・コレクティブでは抱えきれない課題を越えるためにも、働く人どうしが出会い、学び合い、行き来できる関係づくりが必要と考えています。生活クラブや地域のワーカーズ・コレクティブと、互いの強みを持ち寄りながら連携できれば、孤立しがちな現場に新たな可能性が生まれます。

福祉クラブ生協がめざすのは、単なる事業連携ではなく、同じ思いをもつ仲間が少しずつ壁を越え、地域と一緒につくっていくことであり、「つながるかながわ」がその結び目となることに、期待をしています。

つながるかながわ移転のご案内

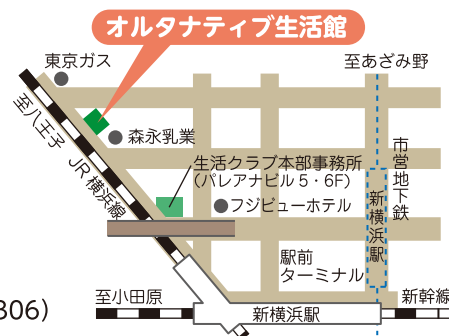
つながるかながわは馬車道から新横浜のオルタナティブ生活館へ事務所を移転しました。立ち寄りやすく相談しやすい、開かれた新しい事務所へ、ぜひお立ち寄りください。

新住所：横浜市港北区新横浜2丁目8-4 オルタナティブ生活館1階

※新横浜駅より徒歩7分

開所時間：平日9時30分～17時

電話番号/FAX番号に変更はありません (Tel: 045-211-4667 / Fax: 045-622-4306)



編集
後記

つながるかながわの正会員となった福祉クラブの「きらり港北」を訪問しました。老若男女の組合員、職員、ワーカーズ・コレクティブ、施設の利用者の皆さんが活気いっぱい、参加型福祉を体現しており、とても感動しました。(田中入馬)